

令和2年度 河頭中学校 2学期 自己評価書

中24 鹿児島市立河頭中学校 令和3年1月6日

1 学校の重点目標

- 基礎的・基本的な内容の定着と自ら学び取る「確かな学力」の育成と学業指導の充実
- 生徒指導の充実と他人を思いやる心、感動する心などを育む心の教育・道徳教育の充実
- 心身の調和のとれた体力増進と学校安全管理の徹底及び充実

2 課題と改善策～4段階評価（4 十分にできた 3 ややできた 2 あまりできなかった 1 できなかった）

番号	本年度の重点目標	R2 1学期	項目	評価	結果と改善方策
1	「確かな学力」の定着と分かる授業の実践	2.9	「授業充実の3アクション」を意識し、基礎・基本の定着につながる「わかる授業」の工夫ができたか。	2.9	ICT機器の活用や自己申告による習熟度別学習など、学習形態や方法の改善を進めた。
		2.9	学習習慣確立週間の効果的な実施と学業指導・学習訓練の徹底、自宅学習の充実に向けた指導・支援に努めたか。	2.9	定期テスト前を中心に、学習時間の確保を図り自宅学習の充実・改善に取り組んだが、生徒自身の学力向上に繋がっていない面もあるので家庭との連携を図りたい。
		2.4	諸検査に基づいた一人一人の実態把握・分析、個に応じた指導の充実を図ったか。	2.5	NRT分析の結果を反映した学習指導の工夫・改善を図った。
		3.0	授業の中で、自分の考えを他の友達に説明する、文章に書く、発表するといった表現活動を取り入れたか。	2.9	教科間で若干の差はある。本校の課題として職員が意識して取り組んだが全体的な評価は若干低下した。
2	心の教育の充実（心に届く生徒指導、道徳指導、いじめ・不登校への対応を含む）	2.7	「考え・議論する道徳」の実践を目指し、指導計画に基づいた「道徳」の時間の完全実施と「話し合い活動」など指導内容の充実に努めたか。	2.8	校内で道徳の研究授業参観と授業研究を全職員で行い、研修を深めた。
		3.0	高い人権意識のもと、各職員間で生徒情報を共有、共通実践をすることでいじめ防止や不登校対策の充実を図るなど生徒指導の充実に努めたか。	3.1	毎週1回の生徒指導部会とその報告を確実に実施し、共通理解のもと指導を進め、必要に応じて保護者へも啓発することができた。
		2.9	リラクゼーション活動やボランティア活動等の豊かな体験活動を通して、「自己肯定感」を高める工夫・支援に取り組んだか。	2.9	生徒会を中心に郊外で募金活動を行うなど、可能なボランティア活動等に取り組んだ。
		2.5	朝読書を充実させ読書の習慣化を図り、「心の教育」につながる指導をすすめたか。	2.5	週1回程度だったので、読書数の増加には繋がらなかった。3学期は朝自習を朝読書に変え、生徒の読書量の増加につなげたい。
		2.9	生徒一人一人を生かす学級経営、一人一人を大切に教育相談に務めたか。	3.1	学級担任を中心に、チャンス相談・三者面談も含め、学級経営の充実やいじめ問題の早期発見・解決につなげることができた。
		2.9	基本的生活習慣の確立や規範意識、道徳的実践力を高める指導の工夫・徹底を図ったか。	3.0	道徳や学級活動の学習内容と学校行事を結びつけるなど、規範意識の醸成につなげた。
		2.7	保護者・地域・SC・関係機関との連携を図り、信頼関係の確立と問題行動等への適切な対応ができたか。	2.9	不登校支援のため、SCを中心に連携をすすめることができた。
3	特別支援教育の充実	3.0	特別な教育支援を必要とする生徒の実態を把握し、職員・保護者・関係機関と連携をとりながら指導・支援にあたったか。	3.1	コーディネーターと管理職を中心に研修も実施し、理解・支援体制の構築・実践が進んだ。また小学6年生の支援学級見学も積極的に受け入れた。
		2.9	「合理的配慮」に基づき個別指導計画・支援計画が適切に作成され、指導員と連携・協力しながら実行されたか。	3.0	支援学級への転入生もあったが、情報の共有を元に支援員と一体化した支援がなされた。
4	進路指導の充実 キャリア教育の推進	2.4	全教育活動を通して、生き方指導を中心に据えたキャリア教育の視点を大切に指導を心がけたか。	2.8	3年生を中心に親子進路学習会、2年生も高校見学会や高校調べを実施。キャリア教育の観点に沿って指導・支援が行われた。
		2.4	進路指導の時間が確保され、自己理解に基づいた自己実現への指導・支援ができたか。	2.7	3年生を中心に親子進路学習会、2年生も高校見学会や高校調べを実施。一学期に比べ高評価となった。
5	体力向上と健康教育	3.1	「一校一運動」やキャプテン会議等の実施による、セーフコミュニティの推進を図り、健康の保持増進・体力向上・部活動中のケガ防止へ向けた意識の高揚と具体的な取り組みについて指導したか。	3.0	月1回のキャプテン会議を定期的開催し、新チームへの移行もスムーズに行われたが、不注意からのケガ等が数件発生したのは反省点である。
		3.0	薬物乱用防止・食育、感染症拡大対策など、心身の健康・安全な生活について指導の充実を図ったか。	3.2	保健主任を中心に取組みられ、学校薬剤師などとも連携、新型コロナウイルス感染防止も含め充実した活動になった。
6	情報教育の推進・充実	3.0	情報モラルや情報リテラシーを高める支援・指導とICT機器を活用した学習指導法の工夫・改善に努めたか。	3.2	新しい校務PCやGIGAスクール構想に伴うタブレット端末配置など、ハード面の充実がなされたので、それらを活用した授業展開について研修を深めていきたい。
		3.0	校内LANを活用し業務改善の視点をもった効果的な校務運営を図ったか。	2.8	see-smileを活用した情報の共通理解や配布紙面の削減など業務改善と連携させたい。
7	特色ある教育活動と開かれた学校づくりの推進	2.8	文化伝承活動（エイサー）の充実と地域行事への主体的な参加を図ったか。	2.9	コロナ禍で地域行事での発表は難しい時期であるが、体育大会等でこれまでの練習の成果を発表できた。
		2.7	各種便りやHP・ブログ等の広報活動充実による効果的な情報発信がすすめられたか。	2.9	コロナ禍でも学校だより「夢南風」や学校ブログで、学校・生徒の様子を発信できた。
		2.2	P T A活動や地域活動へ積極的な参加ができたか。	2.6	コロナ禍で集会の機会が少なくなったが、役員さんを連携をすすめ取り組んだ。

8	落ち着いた雰囲気のある学校づくり	3.1	学校緑化美化・清掃活動に積極的に取り組み、清潔で整理整頓された教育環境づくりに努めたか。	3.3	学校主査・主事さんを中心に、生徒も緑化・花植等に取り組むことができた。
		3.4	安全点検を確実に実施し、速やかな改善・補修に努めたか。	3.1	係による点検簿の配布が遅れるなど課題が残る。担当職員への管理職からの指導を進めたい。
		2.8	学校版環境ISOの取り組みについて生徒への啓発を進めるとともに、自身もその意識をもって活動の推進ができたか。	2.8	会議・研修のペーパーレス化など少しずつ意識の変容がみられる。
9	使命感・職責感の高揚と指導力・実践力の向上	3.0	与えられた分掌について目標と業務改善の意識を明確にし校務推進に努めたか。	3.1	部活終了後30分以内の退庁を目標に、業務の効率化を意識して取り組んだ。
		3.0	校内研修テーマに基づき、計画的・意図的な実践研究を推進することができたか。	2.8	来年度からの学習指導要領本格実施に向け、教育課程や評価など研修の充実を目指した。
		3.0	研究会・研修会等を利用して指導力を高めることができたか。	3.3	コロナ禍で研修の機会が少なくなったが、自己研鑽を進めるようにした。
		3.2	モラルの高揚に努め、服務規律の厳正確保の意識をもった行動ができたか。	3.4	不祥事案件の新聞記事紹介など「自分事」として捉えることができるよう指導できた。
		3.0	適正な勤務時間や、健康の保持増進のために業務改善を進め、部活動終了時刻30分後の退庁に努めることができたか。	3.1	毎日の退庁時刻を板書し、職員に効率化や自身の健康について意識させる取組をした。
10	一学校一改革	2.9	生徒の個を高めるための声かけ・支援ができたか。 (作品展、諸検定への積極的な参加、部活動における主体的活動につながる指導など)	3.1	コロナ禍で大会やコンクールが少なくなったが、顧問教師を中心に活動の活性化を図った。また、美術作品や標語、書道など受賞が多く、文化祭では全生徒の作品を展示・紹介できた。
		2.8	河頭中5則(①時を守り②場を清め③礼をただす④物をそろえる⑤物を大切にす)を意識した指導が生徒に対して徹底できたか。	2.9	若干、職員間で差が見受けられるので、特に三学期は入試を意識した共通の指導となるよう取り組む。